

ヘリコプター体験搭乗感想

東金第一団 ローバー隊 佐々木凜太郎

私は先の 11 月 20 日に陸上自衛隊霞ヶ浦飛行場で行われた基地祭に行き、人生初のヘリコプターの体験搭乗をして来ました。

私は昔から空を飛ぶものが好きだったので、大学に入ってから航空部に所属し自らの手でグライダーを操縦するなど空を飛ぶことを楽しんでいましたが、ヘリコプターだけは今まで乗ったことがなくいつか乗ってみたいと常日頃から思っていたところ、ローバー隊の嶋田隊長から霞ヶ浦飛行場の基地祭にて行われるヘリコプターの体験搭乗に招待していただき長年の夢が叶いました。

当日は基地祭の式典を見学させていただいた後に体験搭乗がありました。搭乗前の事前説明を受けた後駐機場へ移動し、CH-47 という大型の輸送用ヘリコプターに搭乗しました。CH-47 は私も木更津高専に在籍していた時に市内の上空を通るのをよく見かけており見慣れた機体ではありましたが、実際に地上で目の前に立ってみるとその大きさと迫力に圧倒されました。機体は想像していたよりはるかに大きく、その回転翼は航空部で乗っているグライダーの主翼よりも幅が広く、畳の幅ほどもあるように見えました。そして何より機体に近くとジェットエンジンの轟音と熱風、そして回転翼から発せられる凄まじい風が体に当たり、この大きな物体が本当に飛ぶものなのだという実感を持たせられました。機内に入ってみると民間の機体とは違い、真上にあるジェットエンジンの轟音が凄まじかったです。私も様々なエンジン音などで轟音は聴いて来ましたが、余りの轟音に耳が遠くなるという体験は初めてでした。そしていよいよ離陸の時、シートベルトを締めてどのようなものかと考えていたらいつの間にか窓から外を見ると機体は浮き上がっていました。私が普段乗っているグライダーでは離陸の際急加速急上昇するため体に強い G がかかるのですが、ヘリコプターは正に「浮き上がる」という言葉の通り G を感じさせず高度を上げて行きました。この体験搭乗では高度 600m まで上がり、つくば上空を一周したのですが上空に上がってもまるで地面についている時と変わらないような安定感があり、立って歩いても全く不自由はありませんでした。当日は天気が悪かったので遠くまで見ることはできませんでしたが、筑波山を空から見たりつくば市内を上から見下ろしたりなど景色をゆっくりと楽しむことができました。飛行機と違い、飛んでいる時の速度は 120km ほどだったので景色がゆっくりと流れていくというのも乗ってみて面白かったです。そうして上空から写真を撮るなどしているうちに飛行経路を一周し、基地へ降下しましたがこれも非常にスムーズでした、最後に着陸する直前で上空にとどまったのですがこれは絶対にグライダーなどの固定翼機では体験できないものだったのでとても面白かったです。乗った後に感じたこととしてはヘリコプターは振動が大きく、乗り心地は良く無いと聴いていたのですが、実際乗ってみると予想以上に乗り心地がよく安定感のある飛行で、自分の中の固定概念がひっくり返ったと感じました。

また、体験搭乗以外にも基地では最新の装備を見学できたりなど非常に貴重な体験をさせていただきました。

そして基地にて働いていた自衛官の方々は皆とても礼儀正しく、きびきびと動いており自分もこうありたいと思えるような方ばかりでした。そして何よりヘリコプターを飛ばすために働いていた人たちには自分が航空部での活動で感じた飛行機を安全に飛ばすことへの姿勢と意思が全く違う環境ながらも似たようなものがあると感じました。

この体験から私はヘリコプターという飛行機がどのようなものであるかを実感したとともに、空を飛ぶためには多くの人が必要な技術と相互に強く信頼していることが大切なのだと学びました。

最後にこのような貴重な機会を下さった嶋田隊長に改めてお礼を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。